

やまだ文芸広場

雪は、降っても、
必ず幸せの幸道となり、
氷は、張っても、
必ず溶けて、桜の花が咲く
復幸桜が、山田町に満開に咲くから…

佐藤 啓子（船越・36）

鏡にうつるわが姿
つんとすませば 向こうもすます
にらみ返せば にらんでかえす
ほんにうき世は鏡の影よ
泣くも笑うもわれ次第

内館 洋一（飯岡・71）

雪便り ご苦労様です 自衛隊
・羊年 どんな年かと ふと思ひ
逝きし友 想い出さる、日は淋し
生きてる我が 疎ましくなる

佐藤 兼男（荒川・87）

□□□□□□

みんなのスペース

皆さんから寄せられたお便りや作品を紹介します。「広報やまだ」の感想などもお寄せください。



遠い日の年の瀬

年老いても、生まれた古巣は忘れられない、どこかで聞いたお話です。

12月になると、生家での懐かしい年の瀬の思い出をたぐり寄せながら、心なやましていきます。

私たちの育つ頃は、お正月、お盆、ときどきの節句は旧暦でした。旧の12月の声を聞くと、吉日に炉端で、しめ縄づくりやおへいそく切り、笹ぼうきを作るのは父親の役でした。

生活の燃料は「たきぎ」の時代。天井から炉の中心に鉤棒が吊るされて、鍋が掛かり、朝から火が燃えて温もつていました。空窓があり、煙が出たり空が見えたり、楽しい一コマもあり、あの暮らしぶりも懐かしいですね。さきに鉤棒から「あわび貝」に「すず」を取っておき、外にはゴザを敷いて、神仏用を出して。家財があまりない時代、父親は神棚からくまなく笹ぼうきで大掃除。外にはたき火用の一斗缶があり、鉄鍋でお湯を沸かすのは母親でした。

神仏用を「アク」「灰」を付けて磨くのは私の役でした。お湯を取り替えながら、神仏棚から板の間を拭き、よくやった、とその流れが今も――。

旧23日にはすすり取り節句で、夕方になると戸口で「あわび貝」の「すず」を灯すのは私でした。夕暮れに静かに煙る情景が、いまでも懐かしい。

暮れの30日は、餅つき白におふかしを移してから、母親に握ってもらい食べたのが、おいしかったなあ――。79歳になっても忘れられない温もり、幼いかなあ――。また「すず払い」は心身ともに清めて新しい年を迎える、先代からの習わしの知恵にも敬服しております。

震災から4年になろうとしています。現実だけ頭におくとパニック状態になりながら折々に、ふるさとに心寄せて苦楽をともに暮らしてきた事がよみがえり、心の拠りどころとして日々を過ごしています。

菊地 サカエ（織笠・79）

津波の年に再会を約し

古来より「三人寄れば文殊の知恵」と言われてきているが、このことわざが今度の大地震で適用をしない場に、しばしば行きあたってきている？ 何故――。

己の人生において必ず遭遇するか、しないかという天地の大異変。それに伴う、海岸社会における大津波。それによる精神的、物質における計り知ることのできえない大苦痛。大被害、そしてある意味における安全処置の違った判断で全世界中を恐怖と震撼に至らしめた原発事故。このように、いろいろと重なり合った災害で、どこかここで「三人寄れば」、おうおう生きていたのか！ 元気でいたのか――の、生活が続く。

どこへ行っても、どこを見ても予想も想像もなかったがれきの山。山の中の強烈なる津波の臭いの中、四月とは考えられないぎりぎりと光り輝く太陽の下の海……。この海が、世紀における大参事と思えないような、まるで物語に出てくるような穏やかな海。まさに春の海であるが、どうしても思いはあの津波に至る。

いろんな情報が交錯したる中で、偶然にも元・若布養殖組合長たる人物にお会いし、お互いに罹災の中、家族と自らの安泰を祝して再会を約束した。

山崎 卓三（大浦・？）

三百六十五日ははじまり

新年明けましておめでとうございます。めでたく「日出ずる国」の夜明けと共に静かに昇る太陽。ご来光を拝して、一年の平穏無事と復興、復旧と五穀豊



- ▷開催期間 3月1日(日)まで
 ▷参加方法 期間中、参加店において「450円以上」の食事をし、応募用紙にスタンプを押印(出前は対象外)
 ※1店舗につき1スタンプとします。
 ▷景品(抽選)
 ①全店制覇賞(全24店制覇) ▶iPad mini 3(Wi-Fi) 64GB…1人▶JTB旅行券(15,000円分)…2人
 ②特賞(各グループから1店ずつ) ▶光山温泉日帰り入湯券(10枚)…5人▶おこめ券(5,000円分)…5人
 ③一等賞(各グループから1店ずつ) ガソリン券(3,000円分)…10人
 ④二等賞(各グループから1店ずつ) 図書カード(1,000円分)…40人
 ▷応募用紙の設置場所 参加各店、山田町役場、道の駅やまだ内観光案内所、山田観光物産館「とっと」、山田町商工会
 ▷参加店
 ①ピンクグループ…釜揚げ屋、酎、三陸味処「三五十」、グルメハウス「シンコー」、御食事処「笹」、くいしん坊
 ②イエログループ…藤七屋、味処「いっぶく」、道の駅やまだ、仕出し・弁当・御食事処「梅乃屋」、そば・うどん「ありがとう」、榎ノ樹
 ③グリーングループ…味処「舟源」、居酒屋・寿司「ささき」、初音、居酒屋「六もん」、磯よし、和風スナック「ふーちゃん」
 ④ブルーグループ…浜処「いっぶく」、お好み焼・もんじゃ焼「和背」、居酒屋風「あじ平」、魚河岸、肉屋、手づくりパン工房「山田湾ベーカリー」
 ▷応募方法 参加各店設置の応募箱に投稿
 ◆問い合わせ 山田町商工会(☎82-2515)へどうぞ。

穰を祈願し、菓にもすがる思いで神様に願いを託します。元朝参りで三百六十五日が始まります。そして数時間後には、これまた恒例の年始のごあいさつ状が届きます。終年お世話になった方々、楽しくお付き合いを頂いた方、またかつて同僚であった仲間たち、それぞれの想い出を込めての賀状の拝読も楽しかったり、懐かしかったり、素直に、また無邪気に喜べる一日です。

何にでも始まりがあれば、終わりもあります。いかにめでたい事を終わりにせず、長持ちさせる努力をするかも大切なことでしょう。努力をしない者は、良い結果はいくら待っても訪れることはありません。新年早々から偉そうなことを申してごめんなさい。「さわらぬ神に祟りなし」という例えもあります。「申さぬ神には、ご加護はない」ということでもあります。皆さまはどっちを選びますか。言ったことには責任を持つこと、有言実行を望みたいものです。自分を含めて…。

西館 隆(船越・81)

イラストコーナー



キノコ中毒(織笠・15)



まけこ*しろくろ(大浦・13)



えな(豊間根・11)

文芸作品やイラスト、写真、メッセージなどを募集

「みんなのスペース」では皆さんの「投書」「文芸(俳句、短歌、川柳、詩など)」「イラスト」「写真」を募集しています。下記の規定を確認の上、どしどしご投稿ください。

▷投稿規定

- ①住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、ペンネーム・匿名での掲載を希望する方は、その旨を付け加えてください。
- ②営利・政治的活動を目的としたものや特定の個人・団

体をひぼう・中傷するものは掲載しません。

- ③400字を超える投書は添削することがあります。
- ④写真は、1枚(プリントデータ)にタイトル、コメント(30字程度)を添えて、郵送、持参またはEメール(info@town.yamada.iwate.jp)で応募ください。
- ⑤毎月15日を過ぎて届いた作品については、次の月の1日号に掲載できない場合があります。
- ◆宛先・問い合わせ 〒028-1392(住所不要)山田町役場総務課情報係(☎82-3111内線417)へどうぞ。